

第 1 回

「わくわく？悔しい？あり得ない？忘れられない お金エピソード大募集！」

集計結果報告

2019 年 7 月
ぜにわらい協会
<http://zeniwarai.jp/>

ぜにわらい協会「お金のエピソード集計結果」

<実施概要>

1：名称

「わくわく？悔しい？あり得ない？忘れられないお金のエピソード大募集！」

2：期間

2019年5月15日～2019年6月6日

3：募集方法

インターネットによる自由投稿

4：投稿者属性

20代～70代男女個人

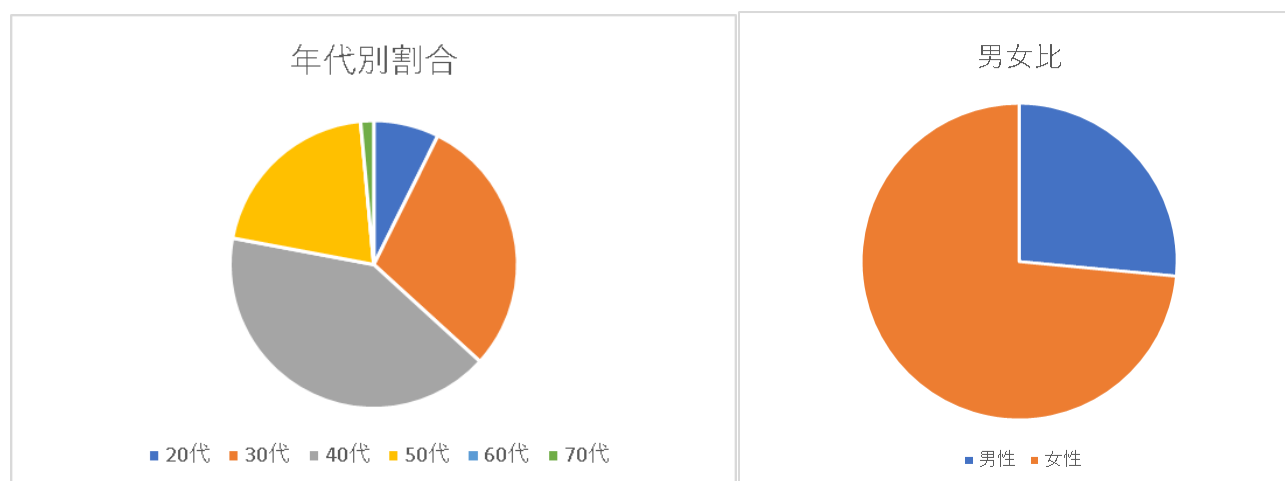
5：有効投稿数

70件

(件数)

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	合計
男性	1	8	6	4	0	1	20
女性	4	12	22	12	0	0	50

6：年代別の割合および男女比



<投稿集計結果>

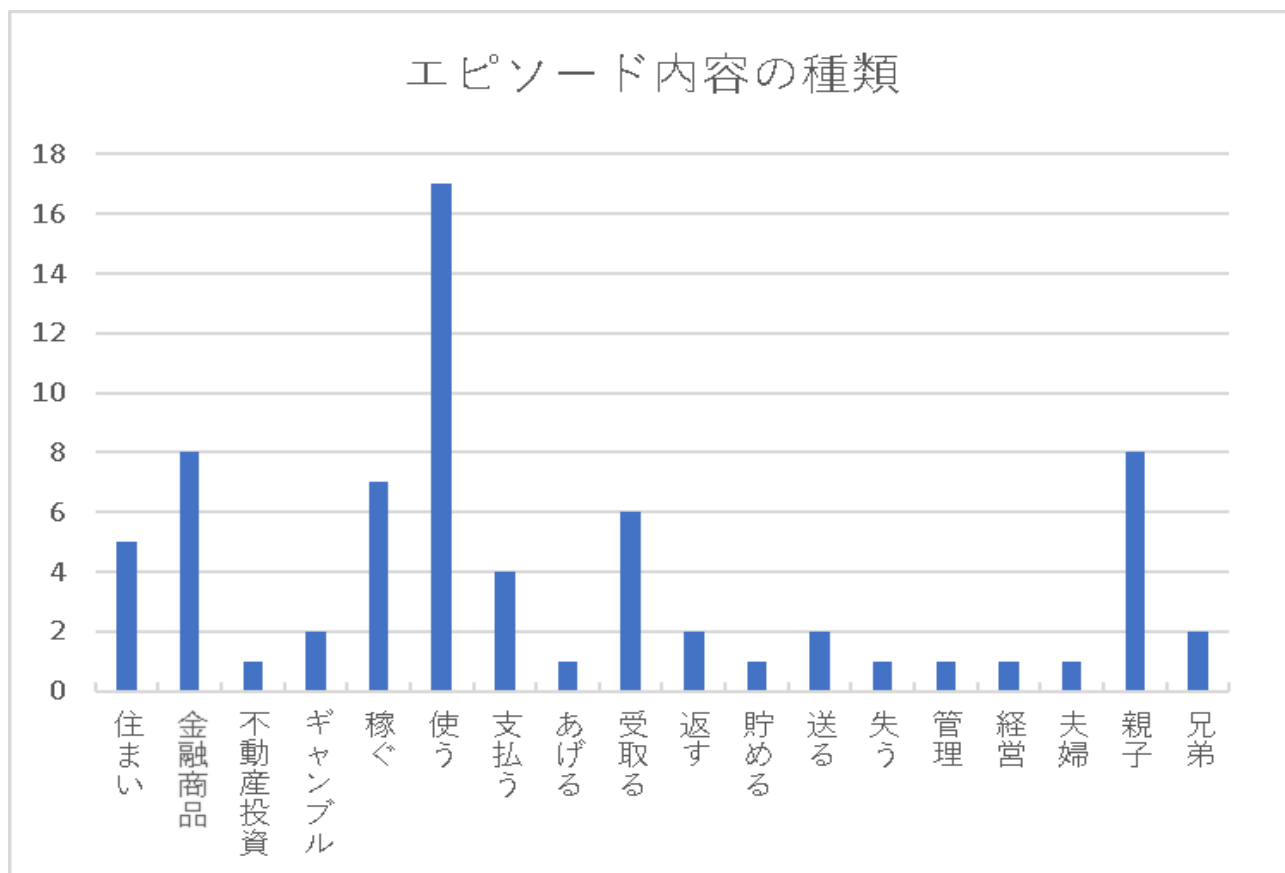
◎サマリー

1. 忘れられない内容として最も多かったテーマは「お金の使い方・使い道」。次いで「金融商品」に関する話と「親子」のお金のやりとりが挙げられた。
2. 全体的にポジティブな表現が 21.7%、ネガティブな表現が 23.3%、残りは中立。
3. 文章内でよく使われた単語は「父」「母」。親子関係の影響が大きいことがわかる。
4. 感情面の 5 分野（喜び・好き・悲しみ・怖れ・怒り）では、全体的に恐れや怒りが多い。年代別では、20 代が恐れと悲しみが比較的多く、喜びや好きもあるが、50 代で怒りや悲しみが膨らむ傾向が高く、70 代で悟り気味に感情面が収束している。

1：全体からみた内容の種類や分布について

エピソードの内容は図表 1 のように多岐にわたるが、お金を「使う」ことに関する内容が最も多かった。次いで、「金融商品」の損得に伴う内容、「親子」のお金に関わる会話や絆を感じた話、更に「稼ぐ」こと「受け取ること」「住まい」に関する内容が比較的多かった。

【図表 1】



図表 1 の左より順に、テーマごとの内容を説明すると以下のようになる。

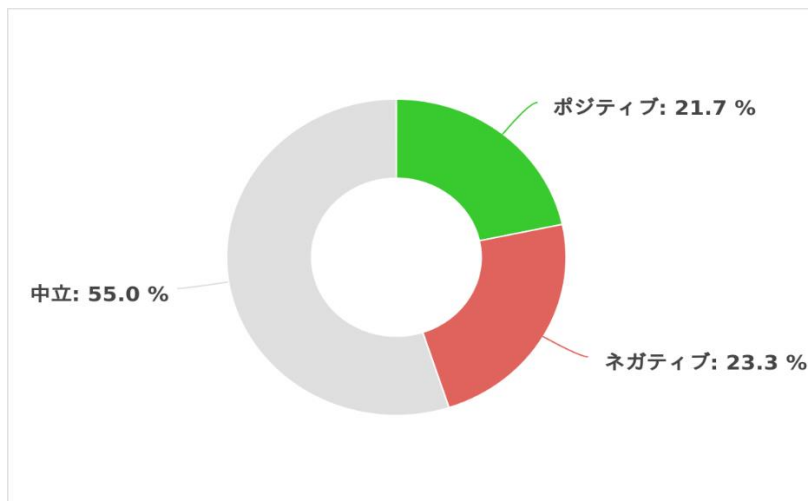
- ・住まい：住宅購入や引越・環境に関する話（満足度やトラブルなど）
- ・金融商品の売買による損得や保有や解約に対する話
- ・不動産投資：投資用不動産の購入や保有に関する話
- ・ギャンブル：投機で値動きが大きいもの
- ・稼ぐ：稼ぎ方やアイデアなど
- ・使う：お金の使い道や使い方
- ・支払う：決済や違約金など
- ・あげる：寄附やプレゼントなど
- ・受取る：お祝いなどをもらう・給付をもらうなど
- ・返す：借金の返済や奨学金の返済など
- ・貯める：貯蓄する
- ・送る：仕送りなど
- ・失う：無くす・紛失するなど
- ・管理：家計簿ややりくりなど
- ・経営：起業や事業のお金
- ・夫婦：夫婦のお金の価値観
- ・親子：親から言われた言葉やそれに伴うお金のやりとり
- ・兄弟：異母兄弟含め、お金のやりとり

エピソードの具体的な内容については以下の分析とともに抜粋して触れていく。

2：ポジティブ・ネガティブの分析

お金を「使う」テーマや「金融商品」をはじめ、前向き・ポジティブなエピソードと否定的・ネガティブなエピソードが見られるが、全体では図表2のようにポジティブが21.7%、ネガティブも23.3%、残り55%が中立という状況だった。

【図表2】



(分析：AI テキストマイニングより)

特に多かった「使う」テーマについては、失敗談や教訓的なエピソードと、温かい前向きなエピソードと二極化している。その主なものを抜粋したのが以下である。

2-a:「使う」に関する失敗談や教訓的（ネガティブ）なもの（抜粋・一部簡略化）

・職場でランチ。みんなでそれぞれ割り勘しているのに、事務所の所長が合計の領収書を出してもらって自分だけ経費扱いにしようとしていた。セコイ。(30代男性)

・知人にモニターとしての診断サービス利用を紹介したが、無料だったからか知人は診断結果やアドバイス内容を同席していた自分より覚えていなかった。やっぱりお金を払っていない分、しっかりと受け取れないのかなと思った。(30代女性)

・30代に入った頃、母を亡くし、喪失感から、買い物依存症に。買い物をすることや物を所有することで精神のバランスを取っていたため、使う金額も増えていき、いつのまにかキャッシングがやめられなくなり、約10年が経過。借金依存症でネット検索し、経験談を本にしている著者の方に相談したのがきっかけとなり、私は借金をやめることを決意し、債務整理できた。クレジットカードがなくなり、その代わりデビットカードを使うようになり、入ってくるお金の範囲内で家計をやりくりすることができ、少しですが貯金もできるようになった。本当に買いたいものを買えるようになり、今は金運もかなりアップしました。

お金との付き合い方が以前のように病的ではなく、健全になったからだと思います。自分とお金との関係性を変えるとどんな変化が起こるのかを学ぶための貴重な経験でした。(50代女性)

2-b:「使う」に関する前向きな温かい（ポジティブな）もの（抜粋・一部簡略化）

・初めてアメリカ本土に一人旅に行った時にチップ文化に触れた。特にとても親切な人とのふれあいがあった後、その人に直接チップを渡すことで、自分の感謝を表す事ができるんだと実感した。日本にはチップ文化がないので、どれだけ良くしてもらっても普通の料金しか払えないし、個人的に払おうとしても、おそらく拒否するケースがほとんど。もちろん言葉で感謝の気持ちを伝えることもできるけれど、チップという具体的で現実的な形の方が、より強い感謝を表すことができ、お金と感謝が結びついている感覚を味わうことができたと思う(20代女性)。

・いい雰囲気のあるお店でオーナーさんの健やかな晴れ晴れとした説明を聞いているうちに、「この人から買いたい！」心からそう思えた。「ああ、モノって、ヒトから買うんだな」改めて実感した出来事でした。もしかしたら同じ値段を出せばもっと「イイモノ」が買えるかもしれない。でも、私はやはりモノを買うということは「ヒトから買う」この事を大事にしています。(30代女性)

・なかなか手離せなかったバッグを買い取りショップに持って行ったら換金額は5000円。その5千円札はピン札でいただき、嬉しかった。ちょうどお天気も良かったので、いつもよくいくアウトレットへ出かけると、今日が割引セールラストの日で、以前から欲しかった服を買うことができた！(40代女性)

2-c:「金融商品」についてはネガティブな感情からそれを克服して満足度へ

金融商品についても、損をしたことの印象からネガティブな感情が伴うことが多くみられたが、勉強を重ね学習していくことで、徐々に落ち着いたゆとり・満足度アップにつながっているようだ。以下、いくつか抜粋する。

・リーマンショック後の数年間FXにはまり、一時期200万円以上の利益を確定した年もあれば、翌年には同じぐらいの損失を確定。トータルの収支では大きな損失ではないが、お金に換えがたい「時間」という財産を失った痛い経験。ゼロサムゲームからは足を洗いました（40代男性）

・不動産を売却した資金を「定期預金ほもったいない」という親の勧めでユーロ建ての振興国債を購入。金融商品の購入は人生で初めてだったが、トランプ大統領の就任やブレグジットなどで元本割れが続き、1年たったときには配当金と合わせても200万ほどのマイナス。「金融機関にあずけたお金が1年で200万減るってどういうことだ?!」とものすごくショックで、軽はずみに選択したことが悔しかった。減ったということはいつか増えることもあるや、と視点をかえ今は値が戻る日を楽しみに待っています 笑（30代男性）

・お金に働いてもらう効果を実感。20年前から投資信託を毎月積み立てている。日頃は基準価額の動きに一喜一憂せずに放置しているにも関わらず、結果としてはそれなりの資産に。この投資信託のお金で、結婚資金、自動車購入費用、マイホームの頭金の全てを用意することが出来た。同じ金額でも必要な時期と不要な時期では全く価値が異なります。目先の金額に左右されず必要な時期に必要な金額を使えばよいというぐらいの心のゆとりがあればお金には困らないような気がする。（40代男性）

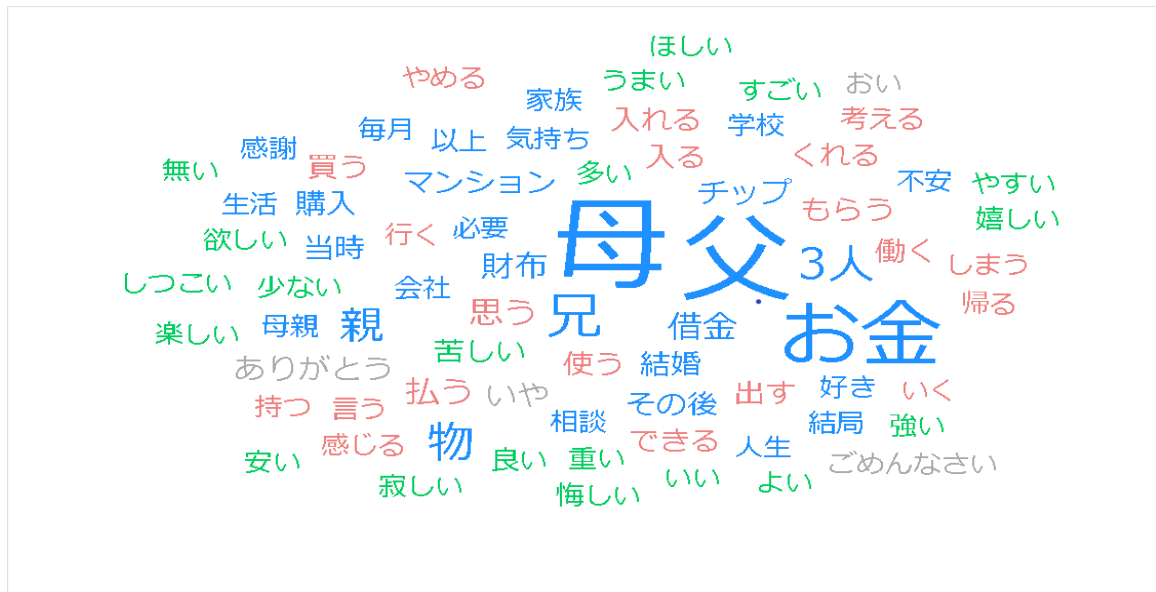
・25年くらい前に買った株、ずっと見るのも嫌で塩漬けにしていた。でもこれ以上持っても、滞留するだけとやっと勇気を出して売った。当初の1/6の金額に下がり、損はしたが、意外にもスッキリして、これからどうしようか考えられるようになった。同じ轍は踏まないように、金融商品を選ぶときは人に相談するようにした。（50代女性）

・一部上場企業に38年勤務し、それなりの退職金を貰って田舎に帰った。一千万単位のお金を得たので、株式を相当数、購入し、また母の家の近いところに新築のアパートを借りた。スーパの冷めない距離に住めばよかったからだ。アパートは、2LDKで家賃7万円だったので、東京に比べ安い!と思った。ところが、株式の暴落があり大損し、アパートの家賃も7年でなんやかんやで600万円を超えた。その他、年金生活に入ったにもかかわらず生活水準を落とすことができず、結果的に、あっという間に退職金が底をつき、年金だけでは足りないのでいろんな形で収入を得る算段をしなければならなくなった。せめて、「資金運用に失敗したファイナンシャルプランナー」というタイトルで本でも書こうかと思う今日この頃です。（70代男性）

3:よく出てくる言葉から、影響度の大きいのは父・母との関係性

図表3は、投稿の中によく出てくる言葉を集計したもので、頻度が多いものほど大きい文字になっている。特に多く登場した言葉は「父・母」であることがわかる。

【図表 3】



(分析: AI テキストマイニングより)

なお、前述1の全体テーマの中でも「親子」に関するお金のエピソードが多かった。それらは、長文でもあり、当事者にとって印象深い忘れられない重要な出来事であることがわかる。本人のお金との付き合い方の中でも、親子関係の及ぼす影響は非常に大きいといえる。特に、親からの応援のお金という認識・親子で共有している思い出、そこから生まれる価値観の再確認が多いようだ。

以下抜粋して紹介する。

3-a: 親からの応援・共有しているお金の価値観

・忘れられないお金は、両親から「応援してるよ」と渡されたお金です。大学生の時、私は体育会の部活で毎年全国大会に向け練習に明け暮れていました。大会が近くになった時、父親からさりげなく「合宿費の足しにしないかい」と渡されたお金。また、会社を辞めて大学院に通っていた際、授業の一環で海外の研修に行く時に、さりげなく「これ」と言って母親が渡してくれたお金。少し変わった道を進み、ふと不安になったりすることもあったのですが、両親の「あなたを応援している」という気持ちが、お金を通してひしひしと伝わってきました。その気持ちが本当にありがたく、結局もらったお金は使わずに、他のお金と混ざらないように取っておきました。お金には色がないと良く言いますが、この気持ちのこもったお金は私にとって忘れられない貴重なものでした。

(30代女性)

・パートナーを見送った母たちをご招待し山陰旅行に出かけた。結婚 10 周年に夫婦で海外旅行をしようと夫が内緒で貯めてくれたお金だったが、2 人ではなく、双方の母親を連れて 4 名での旅行に変更。オプションも食事もすべてが希望に沿ったものを選んであげられ、喜んで貰えた思い出深い親孝行になった。「お金」と「親が元気に動ける時間」の両方が上手に掛け算できたよう思う。(40 代女性)

・自分の夢を叶えるため上京して 昼夜アルバイトをしながらその道の プロになる為に日夜練習に励んでいた。父、母は別居をしていたため一緒に暮らしていた 母を 1 人残して行くのがとても心苦しかったが、私に若い時はやりたい事があつたらなんでもやった方がいい、ドンドンやりなさいと 背中を押してくれた。1 人で寂しくなるのに……。そして、私が成人式の時 母は切り詰めて 貯金したお金で 自分の好きな着物を 5 種類も仕立て 私と姉に贈ってくれた。母は 働くのが好きで 子供のために 一生懸命働き 生計を立て、自分の好きな着物を 私たちに贈る事を生きがいにしていて。母が亡くなってから分かったこと 300 万円貯めていたのだ。着物は 200 万くらいしたと思う。そんな 母と 2 人で一生懸命働き切り詰めて 生活出来る。自分の好きなことの為に生きる お金は 自分の生きがいのために 使う。貯める。その生活感 生き方は 私の中に しっかり 息づいていて お金と生き方に対する価値観にもなっていると思う。(50 代女性)

3-b: 稼ぐことに関しても親の影響大、失敗やアイデアから肯定へ

稼ぐことについても、親や人間関係の影響はあるようだ。また、失敗や不運を乗り越えた経験から、肯定的に捉える内容も見られる。

・中学三年生のときに父親の会社が倒産しました。当時私は私立中学に通っていたので、金銭的に厳しくなり、親から言われたのが、「ごめんなさい、このままだと学校をやめないといけないかもしれない」というものだった。学校＝社会の全てでしたから、自分は頭が真っ白になり「なんとか学校に残りたい」と色々調べて、「学年の校内試験で 10 番以内に入った生徒には、給付型の奨学金がある」という情報を入手した。当時の私の成績は、学年で 50～100 位をうろちょろしていたくらいなので、結構なハードルでしたが、「もうこれしかない」と思い、友人たちが遊んでいるのを尻目に、毎日勉強のことだけを考えて、なんとか奨学金をもらい、学校をやめないですんだ。この経験から私は、「お金に関してはなんとかなる」という感覚を強く持ちました。父親が自己破産を経験したわりには、失う事への恐怖がありません(笑)(40 代男性)

・高校生の時に、どうやったらお金を楽に稼げるかなあって思って、ひらめいたのが、自分のギターを従兄弟に貸して毎月レンタル料 100 円を徴収することだった。20 万円近くするギターだったので、回収するのにめちゃくちゃ時間かかるなあって思ってたら、3 か月後くらいにネックを折られて、帰らぬギターとなりました。そもそも、自分も弾きたかったところを我慢してお金のためにレンタルしたことをひどく後悔したことを覚えてます(笑) 仲の良い従兄弟だったので、怒るに怒れず、本件に関してはそっと蓋をするようにお互い記憶から消しました。(30 代男性)

4: お金のエピソードにあらわれる感情は、怒りや恐れが多く、若い世代は恐れ、

今回の 70 件について、文章の中からの感情面(喜び・好き・悲しみ・怖れ・怒り)の 5 分野を AI 技術で読み取ってチャートにしたのが、図表 4 である。

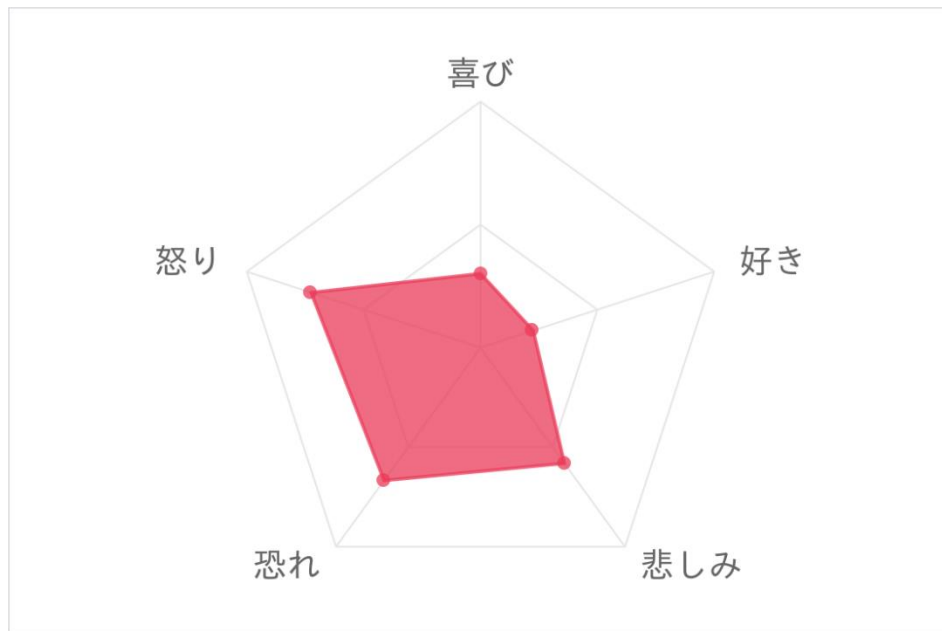
忘れられないエピソードとしては、怒りや恐れは多いようだ。

これは、怒りが、納得がいけないこと、受け取れるものが受け取れなかった制度や損を抱えた金融商品、知人の

ぜにわらい協会「お金のエピソード集計結果」

お金の使い方でお金が腑に落ちないことなどが反映されている。恐れについても、失敗や不安から来ていることが多い。次いで、悲しみ（ショックを受けたこと）が続くが、喜びや好きなことは、投稿数としては比較的少なめだったといえる。

【図表4】



(分析：AI テキストマイニングより)

また、これらの感情を 20 代から 70 代の年代別にみると、以下の図 5 のようになる。

20 代は、まだ怒りのレベルにはいかず、恐れと悲しみが多く、喜びや好きという感情も見られる。

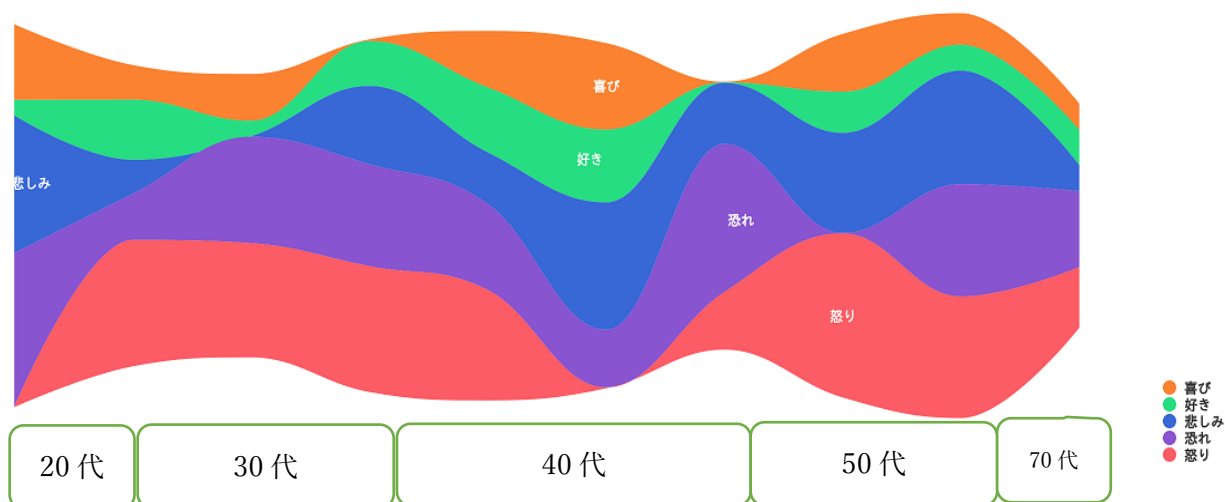
30 代は、全体的に怒りや恐れ、悲しみが膨らみつつある。

40 代は、多様化しているが、何か乗り越えて、喜びや好きという感情を持ち直すともみられる。

50 代で、怒りや悲しみが膨らむことが多くなっている。

70 代で、悟り気味に感情面が収束している。

【図表5】



<全体のまとめ>

お金のエピソードについては、初回ということもあり、投稿数も年代も集計や平均をみるには十分とはいえないかもしれないが、思い出に残るお金のエピソードとしては、貯蓄や節約などよりも、お金の使い方・使い道が圧倒的に多かったことがわかる。また、金融商品に関する話題も感情を伴って忘れられないこととして比較的多く挙げられ、親子の絆を感じる出来事も非常に濃い内容だったと言える。

これらより、お金を通じて自分自身も周囲の人たちも幸せな毎日を送るために、次の3つが重要といえるのではないだろうか。

- (1) 「お金の使い方」は自分自身の幸せだけでなく、周囲に影響を与える要素としても非常に重要度が高い
- (2) 金融商品は知識だけでなく長く付き合うのに必要な「目利き力」をつけることが大事
- (3) 家族の幸せや満足度を高めるためには、親子夫婦兄弟などの存在を尊重し、メッセージを添えてお金のやりとりを行っていくことが大切

以上、第1回「お金のエピソード募集」から得られた傾向を分析し、より幸せな人生に向けたお金との付き合い方を整理しました。皆さんの日々のお金の扱いの参考に、また、家族関係をよくする金融サービスを検討する方々にも参考になれば幸いです。

(なお、AI技術の分析は、株式会社ユーザーローカルのAIテキストマイニングを利用しています)

ぜにわらい協会は一定の条件のもとで投稿内容データ(pdfファイル)を閲覧できるようにしております。詳しくは以下のお問い合わせフォームよりご連絡ください。

◎ぜにわらい協会について

名称：ぜにわらい協会（運営：一般社団法人円流塾）

会長：吹田朝子

所在地：東京都渋谷区広尾5丁目3番7号

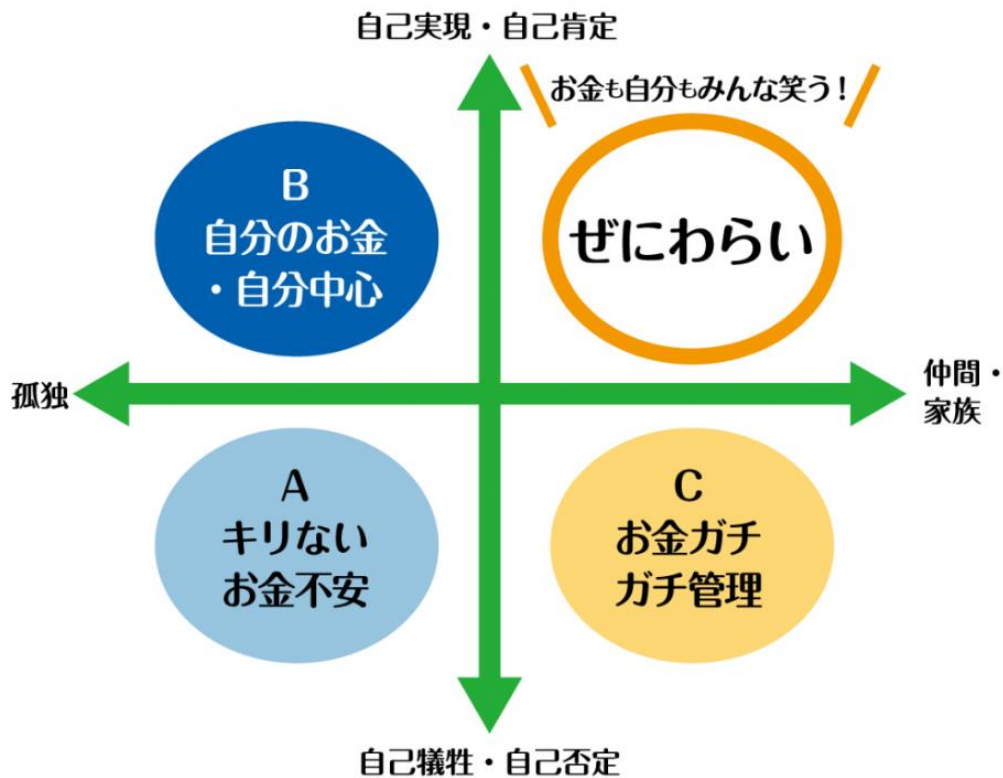
活動内容：お金が笑って私たちの自己実現を応援する「ぜにわらい」生活スタイルを創出・啓蒙するために、以下の3本柱で活動しています。

- (1) 楽しくお金と付き合うのに必要な考え方や行動指針の明確化（ぜに感情・ぜに知力・ぜに体力）
- (2) お金と楽しく付き合うためのツールの開発やイベント開催、実践的な相談サポート
- (3) お金を巡る様々な技術の進歩や制度の活用など、「ぜにわらい」生活に役立つ事例収集や調査研究

ぜにわらい協会 URL：<http://zeniwarai.jp/>

⇒お問合せ：<http://zeniwarai.jp/ask/>

⇒ぜにわらい検定についてはこちらをどうぞ。<http://zeniwarai.jp/kentei/>



◎会長：吹田朝子（すいたともこ）について

人とお金の理想的な関係を追求するお金のメンタリスト®。

一橋大学卒業後、金融機関の主計部を経て 1994 年よりファイナンシャルプランナーとして独立。金融系仕事歴 30 年（うちフリー歴 25 年）、結婚歴 27 年、子育て歴 24 年、ダンス歴 10 年。

個人から中小企業経営者など 3300 件以上のお金の相談を受け続け、幸せや満足度が続くお金の付き合い方には、左脳的（損得勘定など）な視点ではなく、右脳的（楽しい嬉しいわくわくを感じる）捉え方が必要と気づく。以来、損得勘定を卒業して自己実現のためのお金の使い方や増やし方、受け取り方のサポートに力を入れている。

<主な著書>

「お金の流れをきれいにすれば、100 年人生は楽しめる」（スタンダードズ社）

「小学生でもわかる！お金にまつわるそもそも事典」（C&R）研究所

「お金オンチの私が株式投資を楽しめるようになった理由」（C & R 研究所）

「自動的にお金が貯まる習慣」（洋泉社）

「2 人の貯蓄生活術」（ナガオカ書店）

「改訂版 住宅ローン 賢い人はこう借りる！」（PHP 研究所）

「お金持ちレシピ」（明日香出版）、

「マイホーム 賢い人はこうして買う！」（PHP 研究所）など。

以 上